

# 男性のための医療保険

# morph

## for men

補償対象者：満20歳～満60歳の男性

保険期間：1年間※

保険料払込方法：クレジットカードによる一括払いのみ

※以後自動継続となり、最長で満70歳で迎える満期日で終了します。

なお、やむをえずご継続をお断りさせていただくことがあります。

特長

補償  
内容

補償  
詳細

補償の  
選び方

契約者  
サービス

1年ごとに、家族のために、自分のために、  
そのとき欲しい補償を好きなだけ選べる  
男性のための医療保険です※。

※健康告知等によっては補償をお選びいただけない場合や  
ご契約をお引受けできない場合があります。

補償はいくつ選んでもOK!

補償

1

入院

補償

2

手術

補償

3

ガン

補償

4

心筋梗塞・脳卒中

補償

5

先進医療

# 補償内容

補償

1

## 入院

《入院療養一時金支払特約》

病気・ケガで  
14日間以上  
継続して  
入院したとき

入院療養一時金

受取り回数：1回の場合  
14日間以上継続して入院したときに  
1回一時金をお支払いします。

5万円

10万円

15万円

受取り回数：複数回の場合  
下記継続入院日数に応じた  
一時金をお支払いします(最大7回)。

継続入院  
日数

14日間	5万円	10万円	15万円
30日間	5万円	10万円	15万円
60日間	10万円	20万円	30万円
90日間	10万円	20万円	30万円
120日間	10万円	20万円	30万円
150日間	10万円	20万円	30万円
180日間	10万円	20万円	30万円

補償

2

## 手術

《手術保険金支払特約》

病気・ケガで  
手術を  
受けたとき

手術保険金

5万円

10万円

補償

3

## ガン

《ガン一時金支払特約》待機期間90日

この補償はガン診断一時金とガン入院療養一時金の保険金額の組み合わせが5種類あります。

ガンと診断されたとき

ガン診断一時金

20  
万円

50  
万円

100  
万円

ガンで14日間以上継続して入院したとき

ガン入院療養一時金

80  
万円

130  
万円

180  
万円

補償なし

補償なし

補償

4

## 心筋梗塞・脳卒中

《特定疾病入院療養一時金支払特約》

心筋梗塞・脳卒中  
で入院したとき

特定疾病入院療養一時金

50万円

80万円

100万円

日帰り入院も補償!

補償

5

## 先進医療

《先進医療費用補償特約》

先進医療を受けたとき

先進医療費用保険金

お支払い  
限度額

1,000万円

お支払い  
限度額

2,000万円

ここでは概要を説明しています。お支払い要件等の詳細については「重要事項説明書」をご確認ください。

## 補償詳細

### 補償1 入院療養一時金支払特約

#### 入院療養一時金

病気やケガの治療を目的として14日間以上継続して入院した場合、一時金をお支払いします。

一時金の受取り回数は、保険契約締結時に「1回」または「複数回」から選択いただきます。

一時金の受取り回数「1回」を選択された場合、14日間以上継続して入院した場合に一時金をお支払いします。

継続入院日数	14日間
--------	------

入院療養一時金の受取り回数「複数回」を選択された場合、次の継続入院日数ごとに一時金をお支払いします。

継続入院日数	14日間	30日間	60日間	90日間	120日間	150日間	180日間
--------	------	------	------	------	-------	-------	-------

継続入院日数ごとの一時金のお支払いは1入院につき1回限りです。

### 補償2 手術保険金支払特約

#### 手術保険金

病気やケガの治療を目的として公的医療保険制度の対象の手術を受けた場合、保険金をお支払いします。ただし、重要事項説明書記載の「お支払いの対象とならない手術」等、保険金をお支払いできない手術があります。

### 補償3 ガン一時金支払特約



この特約は保険期間中にガン診断一時金のお支払い対象となるガンと診断された場合、そのガンの診断確定日に失効し、次年度の継続や特約の再申込みはできません。

#### ガン診断一時金

補償対象者が保険開始日から91日目以降に、所定のガン（悪性新生物・上皮内新生物）であると生まれて初めて診断確定された場合、一時金をお支払いします。一時金のお支払いは保険期間（継続契約を含みます。）を通じて1回限りです。


#### ガン入院療養一時金

ガン診断一時金が支払われる場合で、ガン診断一時金の支払対象となったガンの診断確定日から180日以内に、そのガンの治療のために14日間以上継続して入院した場合、一時金をお支払いします。一時金のお支払いは保険期間（継続契約を含みます。）を通じて1回限りです。

ガン診断一時金の保険金額50万円または100万円をお選びになった場合は、ガン入院療養一時金の補償はありません。

## 補償4 特定疾病入院療養一時金支払特約


### 特定疾病入院療養一時金

 一時金が支払われた場合、この特約は、所定の心筋梗塞・脳卒中と診断された日、または心筋梗塞・脳卒中中で入院し所定の保険金支払条件をすべて満たした日のうち遅い日に失効し、次年度の継続や特約の再申込みはできません。

心筋梗塞・脳卒中と診断され入院（日帰り入院を含む）した場合、一時金をお支払いします。一時金のお支払いは保険期間（継続契約を含みます。）を通じて1回限りです。

## 補償5 先進医療費用補償特約

### 先進医療費用保険金

 この特約は継続契約を含む保険期間を通算してお支払いした保険金の額の合計が保険金額に達した場合は失効し、次年度の継続や特約の再申込みはできません。

補償対象者が病気やケガの治療のために保険期間中に先進医療を受けたことにより負担した先進医療費用について、保険金をお支払いします。先進医療を受けるために要する保険医療機関への交通費・医師が必要と認めた転入院に要する交通費・退院に要する交通費も先進医療費用に含まれます。

#### ◆先進医療について

先進医療とは、病院等の医療機関で行われる医療のうち、厚生労働大臣が定める特定の先進的な治療であって、将来の公的保険への導入に向けた評価を行なうため、保険診療との併用が認められているものです。

厚生労働省が定める治療の種類や厚生労働省の基準を満たした医療機関数は限定されており、また、現在先進医療であっても、後に公的保険の一般診療に導入された場合は、先進医療から除かれます。したがって、保険期間中に対象となる先進医療が変更となる場合があります。

先進医療の補償は、補償内容が同様の保険契約等が他にある場合、補償が重複することがあります。詳しくは「重要事項説明書」の「特約の補償重複[注意喚起情報]および別紙2」をご確認ください。

ここでは概要を説明しています。お支払い要件等の詳細については「重要事項説明書」をご確認ください。

## 補償の選び方

morph for menは、あなたが今必要な補償を選べる、男性のための医療保険です。

保険金は一時金でお受取りいただけます※。もちろん使いみちは自由です。

あなたに万が一のことがあったとき、病気やケガの入院費や治療費が家計の負担になることを心配される方も多いのではないのでしょうか。

入院中や治療期間中はご家族の生活費や通院のための交通費など、治療以外の費用がかさむこともあります。

入院費や治療費が高額になった場合でも、貯金で何とかなる、とお考えの方もいらっしゃるでしょう。しかし、ちょっと待ってください。何のために貯金されていたのでしょうか？

趣味？旅行？ご家族のため？

必要な補償を保険で備えておくことをおすすめします。

※先進医療費用補償特約を除く

### 何に備えておけばよいでしょう？

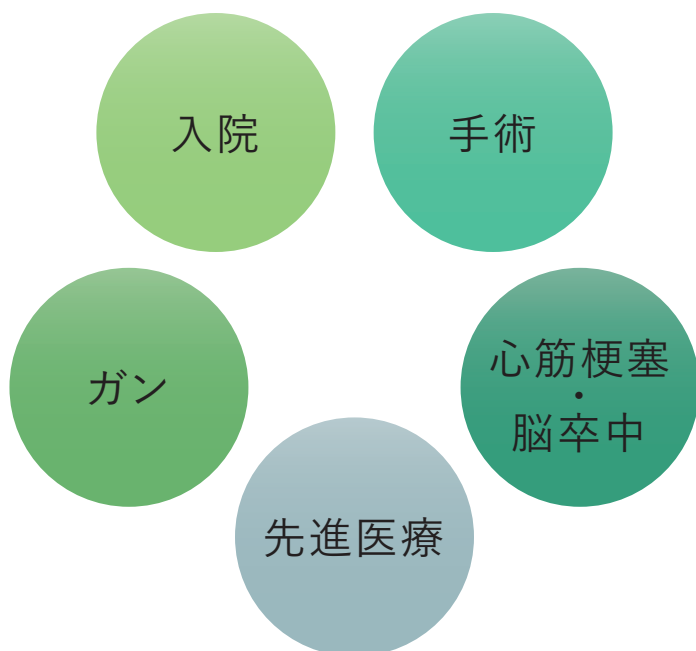
男性は、厚生労働省  
平成29年度患者調査※  
によると次の病気の患者  
数が多くなっています。

- ◆ 高血圧性疾患
- ◆ 糖尿病
- ◆ 心疾患  
(高血圧性のものを除く)
- ◆ 悪性新生物



※「統計表9 総患者数、性・年次・主な傷病別」より  
厚生労働省 患者調査 平成29年度

# 補償をどのように選んでいけばよいのですか？



## 入院

近年入院日数は短くなってきていますが、長期間の入院が必要な場合もあります。

全世代では、1件あたりの平均入院日数は以下のようになっています。

- 高血圧性疾患 15.5日
- 糖尿病 15.4日
- 胃の悪性新生物 12.1日
- 結腸の悪性新生物 11.3日
- 骨折 15.2日

厚生労働省 平成30年度医療給付実態調査

大きな病気やケガは他人事ではありません。交通事故や未曾有の感染症など、予期せぬことで思いがけず長期間の入院になってしまうこともあります。

入院が長引いてしまうと、ご家族の生活費やご家族がお見舞いにみえる際の交通費など、治療費以外にも色々な費用がかかってきます。

長期入院には使いみちが自由な一時金補償があると安心です。

## 手術

手術による治療が行われた場合は、入院が長くなることもあります。

思いがけず交通事故やスポーツで骨折などの大ケガをして手術が必要になることもあります。

入院と合わせて備えておくと安心ですね。

# ガン

生涯で男性がガンに罹患する確率は約66%※1。

そして、2018年にガンと診断された男性のうち、20歳から69歳の占める割合は約36%でした※2。

2人に1人がガンになると言われている時代ですが、ガンは治る病気と言われています。働きながらガンの治療をされている方もいらっしゃいます。

ガンの治療は抗がん剤治療や放射線治療など、手術補償の対象とならない治療もあります。

この補償はガンと診断された際に診断一時金をお支払いしますので、その後の治療にご活用いただけます。

※1 国立がん研究センター がん情報サービス

がんに罹患する確率～累積罹患リスク

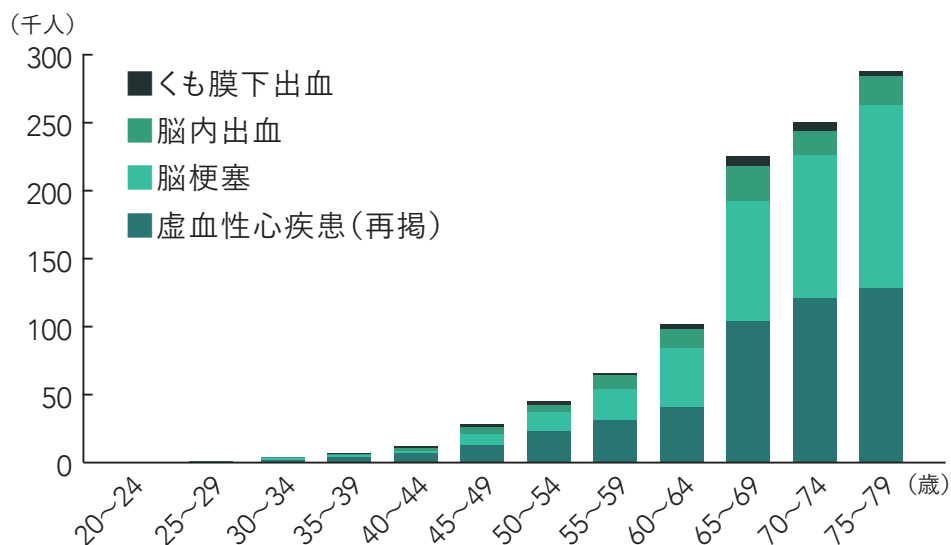
(2017年データに基づく)より

※2 全国がん罹患データ(2016年～2018年)

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

# 心筋梗塞・脳卒中

虚血性心疾患、脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、年齢とともに患者数が増えていきます※1。



なかでも脳梗塞は入院が長期間になることが多く、1件あたりの平均入院日数は19.8日です※2。

入院の補償と合わせて備えておくと安心ですね。

※1 平成29年患者調査 上巻(全国)

上巻第62表 総患者数, 性・年齢階級 × 傷病小分類別

※2 厚生労働省 平成30年度医療給付実態調査



## 先進医療

先進医療とは、厚生労働省が定める特定の先進的な治療です。将来の公的保険への導入に向けた評価を行うため、保険診療との併用が認められています。

先進医療に係る技術料は公的保険が適用されず、全額自己負担になるため、治療費が高額になる場合がありますので、備えておくと安心です。

先進医療の自己負担額 (先進医療に係る費用1件あたりの平均額)	
重粒子線治療	陽子線治療
約312.4万円	約271.5万円

先進医療は受けられる医療機関が限定されているため、交通費が負担となる場合もあります。この補償では、先進医療を受けるために要する医療機関への交通費も補償します。

出典：厚生労働省「令和2年6月30日時点で実施されていた先進医療の実績報告について」より算出

重粒子線治療・  
陽子線治療を  
実施している医療機関

- 重粒子線治療
- 陽子線治療



2021年6月1日現在

出典：厚生労働省「先進医療を実施している医療機関の一覧」

## ご契約者様専用サービス

### 医療・健康相談サービス「安心ダイヤル24」

健康や医療、介護・育児に関するご相談を経験豊富な相談スタッフが24時間・年中無休でお受けします。

### セカンドオピニオンサービス

病名などが判明している病症状に関して、現在の診断や今後の治療方針・方法などについて、総合相談医の意見(=セカンドオピニオン)を聞くことができます。

### 受診手配・紹介サービス

通院先の医療機関では対応できない治療が必要と主治医が判断した場合、提携する医療機関にその専門分野の医師が在籍し治療可能な場合に受診の手配をいたします。

#### 【これらのサービスについて】

- これらのサービスはご契約後にご利用いただけます。
- これらのサービスはアメリカンホーム保険会社の提携先であるティーベック株式会社が提供します。
- これらのサービスは予告なく変更されることがあります。
- ご利用の状況または相談内容により、相談の制限・停止をさせていただく場合があります。
- 国外の相談および国外からの相談などのご利用いただけません。